

CSR REPORT
2023

生活協同組合 コープやまぐち

〒753-0872
山口市小郡上郷10901-21
代表TEL:083-995-3600

ホームページアドレス
<https://yamaguti-coop.or.jp>

■コープやまぐち公式SNS



No.E2360-ISO 14001

2023年6月発行



CSR REPORT
2023

つながる・創る 共に生きる未来!



生活協同組合 コープやまぐち

CONTENTS

・代表理事あいさつ	P2
・ 特集 ここと いずみ店 新築オープン	P3
・生涯にわたる心豊かな暮らし	P5
・安心して暮らし続けられる地域社会	P9
・誰一人取り残さない、持続可能な世界と元気な山口県	P13
・組合員と職員誰もがイキイキと輝く生協	P15
・より多くの人々がつながる生協	P17
2022環境活動報告	P19
安心の事業ネットワーク	P23
コープやまぐちの概要	P25

●マスコットキャラクター「ここ」

いつもそばにいて心を安らげてくれる、妖精のような存在「ここ」。
コープやまぐちがめざす「安心が広がる居場所づくり」の推進リーダーです。
“安心が広がる居場所”のここ、心、コープの意味が含まれています。



●コープやまぐちプロフィール

名 称 生活協同組合コープやまぐち

設 立 1963年(昭和38年)8月

会 長 岡崎 悟(おかざき さとる)

理 事 長 山崎 和博(やまさき かずひろ)

専務理事 米原 直樹(よねはら なおき)

組合員数 217,936人
【店 舗 事 業】 94,383人
【宅 配 事 業】 111,525人
【夕食宅配他】 12,028人

出 資 金 90億4千2百万円

職 員 数 コープ職員数 407人 コープ職員(定時) 555人

つながる・創る 共に生きる未来!

コープやまぐち代表理事
理事長 山崎 和博



2022年度は、コロナの規制も緩和されコロナ前の日常を取り戻しつつある反面、物価の上昇で消費マインドは冷え込み、経費の押し上げも圧力となり昨年までとは異なる環境下での活動を余儀なくされました。その中でも、2030ビジョン「つながる・創る 共に生きる未来!」の実現に向けた、「デザイン2025」(中期5ヶ年計画)の2年目の取り組みとその実践を進めてきました。

とりわけ、2022年度は行政や他団体、お取引先等の皆様と連携が深まる年になりました。山口県との協働事業として始めた子育て支援事業「はじめましてBOX」は、1年間で出生数の約60%になる4,623名の方に申し込みいただき、平和の想いをつなぐ「やまぐちピースフォーラム2022」には、5市3町の首長・副首長を交え開催することができました。

また、「コープファンを広げる」取り組みでは、アプリの導入やバーコード決済など仕組みの改善や、商品の開発・新規商品の取り扱い、組合員の声を広げる活動やTVCMの活用など積極的に展開しました。その結果、供給高、経常剰余金ともに前年から伸ばすことができ、ここといずみ店も移転開設の運びとなりました。このような成果につなげることができたのも、行政やお取引先等の皆様のお力添えや組合員の支えによるところであり、この場を借りて深く御礼申し上げます。

さて、2023年度は、コープやまぐち創立60周年の節目の年になります。創業から、先人の皆さんの強い意志と協同の力で築いてこられた事業と運動を、未来にしっかりつなぐことが私たちの使命です。全国生協組合員の共通の願いである「平和とよりよい生活(くらし)」の実現に向け、組合員どうし、組合員と役職員のつながりはもちろん、地域・行政をはじめ、他団体の「つながる力」をこれまで以上に大切に、事業と運動を積み重ねていく所存です。

これまでの活動の振り返りと、山口県になくてはならない生協として今後の実践が進むことを祈念し、「CSR REPORT 2023」をまとめました。ご一読いただければ幸いです。

ここと いずみ店 新築オープン

「おいしい、たのしい、やさしい、発見・感動」があるお店をめざす

「ここと」は、安心の広がる居場所という意味を込めた「ここ」に、「&」を指す「と」を加えた愛称。みんなの暮らしに「ここ（安心）」が広がっています。

コープのお店ことでは、「おいしい、たのしい、やさしい、発見・感動」を提供するオンリーワン店舗をめざし、様々な取り組みにチャレンジし、毎日のくらしや地域の活性化にお役立ちしていきます。



組合員や地域の方が集う「コープタウン」

コープやまぐちは「誰一人取り残さない」社会の実現に向けた取り組みを推進しています。山口県が抱える、高齢化・買い物弱者支援・子育て支援・環境対策などの様々な課題解決の一助となることをめざして、食品スーパーであるここと いずみ店を核店舗とし、周辺に複数テナントを配置するNSC（複合施設）をつくることとしました。

ここと いずみ店は2023年6月に先行オープンし、複合施設コープタウンのグランドオープンは2024年秋を予定しています。

ここと いずみ店がめざす「おいしい、たのしい、やさしい、発見・感動」があるお店

おいしいお店



▲鮮度にこだわった地場野菜や県内産の生鮮食品。▲



▲店内で作っているオリジナル惣菜。

たのしいお店



▲人気店の商品も品揃え。



▲取り扱い冷凍商品が増え、選べる楽しさも広がりました。



やさしいお店

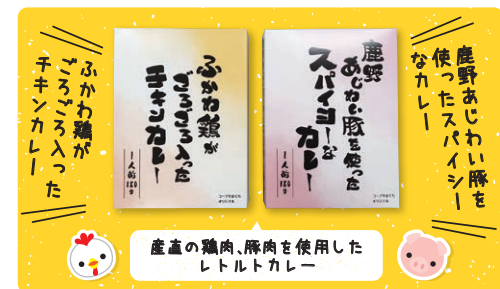
安心感を高め、地域・環境・未来にやさしい商品

コープやまぐちが長年取り組んでいる「コープの産直」商品はもちろん、エシカル消費につながる商品や、地元山口の生産者・メーカーと協働して開発したコラボ商品（留め型商品）を店内各コーナーで取り扱っています。

商品を通して、忙しい毎日や健康に役に立ったり、地域・環境にやさしいといった魅力を実感していただくことをめざします。ココ・ファームの商品を買うことで、ハートコープの障がい者就労支援にもつながります。

また、商品のファンを増やすことで、地元生産者やメーカーも応援します。

組合員から生協へ期待されていることは、安心安全な商品をお届けすることです。つくる人と食べる人を結び、お互いの信頼関係を高める産直商品や、県民にとって身近なメーカーとのコラボ商品の取り扱いを広げることで、安心感のあるやさしいお店づくりにつなげていきます。



わかりやすく、お買い物しやすいお店



▲広い通路に低めの陳列棚。



▲新設の授乳室と「みんなのトイレ」。



▲オーダーカット受付。



▲見てわかりやすい表示。

環境に配慮したお店

建物の屋根を活用して太陽光パネルを設置。開店時は稼働していませんが、今後発電した電力は店舗内の電力供給に活用予定です。



▲LED照明で明るい店内と電気自動車の急速充電器。

発見・感動

「こんな食べ方あったんだ!」と思う情報をPOPで伝えたり、メニューが目につくような陳列で、くらしに寄り添うお役立ちを凝らしています。お店での買い物や商品を通して、くらしが変化する実感をお届けしたいと考えています。特に接客と鮮度を追求し、来店者の皆さまに「また来たい」と思っていたら、家族や身近な人と一緒にお買い物したくなるような、「発見・感動」のあるお店づくりをめざします。



地域の皆さまとのつながりを大切に、毎日のくらしに「おいしい」「たのしい」「やさしい」をお届けする地域一のお店になれるよう、魅力あふれるお店づくりに取り組んでまいります。従業員一同、皆さまのご来店を心よりお待ちしております。



ここと いずみ店
店長 藤本



いずみ店コープ委員会
澤さん

「期待の声」

新店をきっかけにたくさんの方に「ここと」に来てもらい、環境や地域にやさしいお店だと知ってもらいたいですね。冷凍商品の陳列スペースがぐっと広がるので、冷凍商品のおすすめに力を入れます。私たち組合員も一緒に盛り上げていきたいです!

県内ここと各店の取り組みは6ページ、店舗概要は26ページをご覧ください

生涯にわたる心豊かな暮らし



人と人をつなぐ 宅配事業

コープやまぐちの宅配 ここくる

カタログでご注文いただいた商品を、毎週定曜日・定時間に個人宅やグループ代表者のお宅、職場などへお届けしています。

また、7歳までのお子様がいるご家族を応援する「ここサポ」や、70歳以上の方が対象の「70（ななまる）サポート」、障がいのある方向けの「ふれあい便」など、お買い物応援も行っています。



利用者の声

私が体調を崩して商品を置き配してもらったとき、配達担当さんが、玄関のドア越しに「早く良くなってくださいね」と声をかけてくださいました。商品と一緒にあたたかい気持ちも届けてくれています。

2022年度のトピックス

●無印良品や大容量商品の取り扱い

2023年2月からは新たに「無印良品（株式会社良品計画）」や、大容量商品（DOSATTO）の取り扱いを開始。子育て層を中心に好評をいただいております。



▲カタログ「DOSATTO」

●コープアプリ

2022年1月からスタートしたコープアプリは、現在1万6000人を超える組合員さんにご登録いただいております。

イベント・企画情報の掲載や「おしえてネット」「くらしと生協」アイコン追加など、より使いやすく便利なアプリへ改修を重ねています。

コープアプリダウンロードページ▼



●交通安全講習会

全職員が安全運転教育を受け、全営業車両にドライブレコーダーやバックモニターを設置することで事故防止に努めています。

●コープステーションハウス開設

営業時間内であれば、定曜日のお好きなタイミングで商品を受け取れる「コープステーションハウス」は、現在38拠点まで広がり、お仕事帰りやお出かけついでに立ち寄れて便利だと喜ばれています。



▲王司ハウス

2月に新設した下関市王司ハウスは、JA山口県王司支所に隣接しており、地域の方々が集う拠点としての機能も期待されています。

●くらしサポーター制度

自分（たち）の時間や特技、技能を活かして、有償または無償で、地域の困っている方や手助けが必要な方を支援する制度「くらしサポーター制度」を開始。2023年3月末現在、上関町では社会福祉協議会をサポーターに、周防大島町では組合員がサポーターとなって、宅配の商品お届けや受け渡しを行う「ここくるサポーター」に取り組んでいます。

宅配ここくる登録組合員
111,525人(前年比101.3%)

宅配ここくる2022年度供給高
150.7億円(前年比99.4%)

くらしの安心の拠点 店舗事業

コープやまぐちの店舗 ここと

「おいしい、たのしい、やさしい、発見・感動」をテーマに、今日の献立に困らない、「ここと」に行けば役立つ情報がある、地域のオンリーワン店舗をめざしています。徹底的に鮮度を追求し、地元山口県産品も豊富に品揃えしています。



利用者の声

ここと宇部店は床に魚が映し出されていて、子どもにとっては水族館気分!すごく楽しんでいました。

2022年度のトピックス

●LINEミニアプリで電子マネー・キャッシュレス決済

コープやまぐちのLINE公式アカウントを開設して以来、アカウントのともだち登録者数は2万人を超え、チラシ配布地域以外の方にもお役立ち情報の発信をお届けしています。

LINEミニアプリでは、ここカードの電子マネーをバーコード表示で利用できる機能が追加されました。

PayPayなどのキャッシュレス決済も対応できるレジに変わりました。1月にはスマートレシートのサービスもスタート。より便利でスムーズなお会計で、レジの待機時間短縮にもつながっています。



●より充実した商品の取り扱い

店舗職員が発案し店内で製造した「サラダボウル」などの生鮮加工商品や、惣菜お弁当グランプリ2年連続入賞記録を持つ「旅するかつ丼」などのオリジナル惣菜を展開しました。

また成城石井などの他ブランド商品や、地元商品等、商品の取り扱いを広げ、多くの利用をいただきました。

●お買い物が楽しくなる工夫

新下関店の畜産コーナーや、いずみ店の天ぷら盛り合わせ、とくやま店のお寿司バイキングなど、思わず手に取りたくなる商品づくりや陳列、企画に工夫を凝らしています。（商品開発については8ページ参照）



店舗ここと登録組合員
94,383人(前年比100.5%)

店舗ここと2022年度供給高
67.6億円(前年比104.5%)

生涯にわたる心豊かな暮らし

産直活動

肥培方法や生産者が明確、そして生産者と交流ができる独自の産直基準や、地場の生産者と協働してお届けする鮮度良い農産物など、持続可能な生産と消費につながる商品を充実させます。

コープの産直

コープの産直は、つくる人（生産者）と利用する人（組合員）を結ぶ「産地直結」。産直三原則をもとに、定期的な視察や交流などの活動を継続して行っています。産直パートナーは山口県内だけでなく、現在北海道から鹿児島まで全国の生産者・団体と締結しています。

コープやまぐちの産直三原則

- 産地・生産者が明確であること
- 肥育・肥培方法・管理が明確であること
- 生産者との交流が行われていること



2022年度のトピックス

●長野県へ産地視察

2022年度は10月にぶなしめじ薫樹（くんじゅ）と長野りんごの産地、長野県へ役職員と組合員代表が訪問。一般社団法人「ブナの恵」と「サン・くらふとの会」の皆様との直接の交流はコロナ禍前の2019年度以来となります。

●オンラインやSNSを活用した交流

また、12月にはインスタライブとZoomを活用して、ぶなしめじ薫樹の産地と山口県をつなぎ、組合員・職員・生産者が顔を合わせて交流・学習を行いました。



▲産直りんご
サン・くらふとの皆様と。



▲オンライン交流のようす。

●周南地域の組合員・職員が 鹿野ファーム工場見学へ

わが家のいちおし活動（16ページ参照）の一環として、周南地域の組合員・職員と一緒に産直あじわい豚でおなじみの鹿野ファームへ工場見学に伺いました。

健康的な豚を育て、愛情をもって丁寧に一品一品こだわりの食品・商品をつくっていることをお聞きし、子どもたちも喜んでメモを取りながら熱心に聞いていました。

工場見学を通して学んだことは、宅配でカタログと一緒に配布される地域組織委員会発行のニュースでお知らせしました。



▲鹿野ファーム見学のようす。



くらしに寄り添う商品事業

「子どもたちに少しでも安全なものを食べさせたい。」「もっと便利な商品、おいしい商品がほしい。」そんな組合員の願いから、組合員と一緒に商品開発や、声に応える商品改善をすすめています。

各店舗の開発商品

ここ各店では、組合員さんのくらしに寄り添い、鮮度・品質・価格の面で抜群の商品の開発や取り扱いを広げています。

店舗惣菜の開発状況説明や、直近の惣菜開発について組合員視点の意見を取り入れるため、担当バイヤーが商品活動委員会（※）に必要に応じて参加します。



▲商品活動委員会にて食べ比べのようす。

※コープCSネット商品開発の参画、地域の取り組み事例の交流などを行い、組合員の声を届け、地域の商品活動を広げる役割を担う組合員の委員会。

組合員が開発に参加した商品

中四国の生協の事業連合であるコープCSネットでは、会員生協の組合員・職員・メーカーが一堂に会して商品の開発・改善に取り組む「商品開発委員会」があります。コープやまぐちからも組合員が参加し、「こんな商品があったらいいな」の願いを形にする活動を行っています。

2022年度のトピックス

●ファミシュシュシリーズ

スキンケアに関する組合員の声を6つにまとめてテーマとし、テーマに沿ったアイテムをファミシュシュシリーズとして商品化をすすめています。2021年に家族で使えるモイスチャーミルク「うるおいミルク」を第一号とし、2023年度は薬用ボディソープが誕生。



●牛肉コロッケ（凍りこんにゃく入り）

商品開発委員会で多くの意見があった「なかやま牧場のハンバーグ」「コロッケ」「こんにゃくのアレンジ」を融合させた商品を、2022年11月に新発売。岩国市の錦町農産加工（株）が製造されるCOOP国産生芋こんにゃくの端材も活用した、エシカルな面もある商品です。



安心して暮らし続けられる地域社会



店舗・宅配事業では応えることができない組合員のくらしの要望に応える生活事業

様々な暮らしの困りごとへのお役立ちをめざし、買い物弱者支援を中心に、自治体や地域の団体と連携して、くらし貢献をすすめています。



夕食宅配 ここくる

管理栄養士が監修し、カロリー計算されたおいしい弁当・惣菜を県内全域にお届けしています。

1日に約5,300食の利用があり、利用者はご高齢の方が多いため、見守りも兼ねて基本的にお弁当は手渡しです。利用者の安否を確認する事例（見守り事例）が、2022年度は137件ありました。

移動店舗 おひさま号

移動店舗おひさま号は、ここと各店を拠点とし、中山間地域を中心に、2022年度末、14台が運行しています。

山口県内の販売拠点は、300カ所以上にのぼり、個人宅に訪問する移動販売車両もあります。

毎週2千人以上の方のお買い物をささえ、1年間ではのべ11万人の方が、おひさま号を利用されています。



▲JA山口県キャラクター「笑味ちゃん」ラッピングコラボ車。

お買い物サポートカー

お買い物サポートカーは、組合員のご自宅から、ここと各店までを無料送迎しています。コープやまぐちの組合員さん限定のサービスです。

運転免許証を返納された方や車をお持ちでなく、一人で店内をお買い物できる方が対象で、現在6店舗で運行し、1年間で3万人以上の方が利用されています。

🔍 2022年度のトピックス

新規お弁当申込1契約につき20円を共同募金会へ寄付する「笑顔でつながる夕食貢献プロジェクト」では86,400円を贈呈しました。

🔍 利用者の声

魚も骨が取ってあり食べやすく、野菜がたくさん入っていて栄養満点。健康に過ごせているのはコープさんのお弁当のおかげかな。

🔍 2022年度のトピックス

社会福祉協議会、錦町農産加工(株)と連携し、岩国市山間部で販売拠点が増え、買い物支援が広がりました。また、下関市ではJA山口県との共同した移動店舗がスタートしました。

🔍 利用者の声

買い物が不便で困っていましたが、自分で見て買い物ができるし、助かります。

🔍 2022年度のトピックス

いずみ店に2号車が導入され、小郡店を含め全店で対応が実現。また、宇部店サポートカーの運行をタクシー業者のドライバーに委託し、運転技術と車両メンテナンス力が組合員に喜ばれています。

🔍 利用者の声

お米や飲料ケースなどの重いものを、送迎のスタッフの人が玄関先まで運んでくれるので本当に助かります！

くらしに寄り添う共済事業

コープ共済は生協と同様、組合員相互の「助け合い」の精神のもとに運営され、万が一のときに共済金が支払われる仕組みになっています。組合員の意見・要望から生まれ、より良い商品に成長してきたコープ共済を通じて、組合員の「ふだんのくらし」に貢献し、豊かな社会づくりをめざしています。



▲コープ共済キャラクター
コーすけ

🔍 2022年度のトピックス

●山口で10万人以上が加入

「たすけあい」「あいぶらす」「プラチナ85」「ずっとあい」など多様なラインナップで、くらしに必要な保障を実現しているコープ共済。

全国約150の生協でコープ共済を取り扱っています。コープやまぐちの加入者数は10万人を超え、2022年度1年間で、約14億7100万円の共済金をお支払しました。

コープ共済加入者へは定期的に「共済金のご請求忘れはありませんか?」といったご案内を行っています。

また、組合員が気軽に、共済の給付申請や自分や家族に関する保障の相談ができるよう、コープのお店に共済カウンターを設置しています。

コロナ関連の給付件数は1万件を超え、多くの方にお役立ちできました。

●大人向けコースも充実

9月に「たすけあい」が、さらに充実した保障内容へとリニューアルし、満20～満64歳（発効時）の大人向けコースが整備されました。

たくさんの組合員にご加入いただいたおかげで、保障内容がよくなりました。

🔍 利用者の声

子どもが入院しました。福祉があるので保険はいらないかとも思っていたのですが、入院するともろもろ費用が必要で、保険があって助かりました。ありがとうございました。

●コープやまぐちLPAの会

コープやまぐちでは、コープ共済連の学習を修了したコープの組合員さんと、「ライフプラン・アドバイザー（LPA）の会」をつくっています。

LPAの会では、組合員を対象として、公的年金・社会保険・生命保険や税金等についての理解や、家計管理について学ぶ「ライフプラン学習会」を定期的に開催しています。

LPA学習会で学習できるテーマは、ライフプランや、医療保障、相続に関することまで多岐にわたっています。



▲LPA学習会のようす。

●大学生・専門学校生向けの保障

学生総合共済の学生向け保障プランをコープやまぐち組合員にもお知らせする取り組みが進み、学生がいるご家族へのお役立ちが広がりました。

コープやまぐちのコープ共済加入者数
104,433人(前年比102.1%)
.....
コープ共済金支払総額(2022年度末)
14億71百万円(前年比213.8%)

安心して暮らし続けられる地域社会

行政、他団体との連携や

コープやまぐち子会社による事業ネットワークの広がり

くらしが変化し、多様化する中、コープやまぐちの事業や活動だけではカバーしきれない様々な商品・サービスの提供が求められます。行政、他団体、関連会社との連携を深め、元気な地域社会づくりや豊かなくらしへのお役立ちを広げていきます。

山口県と協働した子育て支援 はじめましてBOX

「はじめましてBOX」は、山口県内で生まれた赤ちゃんへ「生まれてきてくれてありがとう」の気持ちとともにプレゼントをお届けする取り組みで、2022年4月から受付を開始しました。

お申し込みは専用サイトから受け付け、コープ職員がお届けしています。

専用サイトは
こちら



箱の制作

「はじめましてBOX」の箱は、お子様の思い出の品を詰めるタイムカプセルとしても長く使用できるよう、丈夫でこだわりのある箱を採用しています。制作は周南市に工場を構える(有)スエカネ紙工。一つひとつ手作業で行っています。

箱のデザイン

山口県のシンボルであるホンシュウジカと夏みかんの花をモチーフに、日々繰り返す育まれてゆくイメージが描かれています。デザインは光市在住のデザイナー、マエサキマユ氏。ご自身も子育て中のお母さんでもあり、はじめましてBOXを受け取るご家族への応援もデザインに込められたとのこと。

2022年度のトピックス

●山口県に生まれた赤ちゃんのご家庭約6割にお届けしました

2022年度は合計4,623名もの方にお申込みいただきました。これは山口県の出生数の約6割にあたり、取り組みのスタート年として目指していた5割目標を超える多くの方にお届けすることができました。

利用者の声

ちょっとした物だけこういうのってもらえるとすごく嬉しい。無料で食べ物から日用品までいろいろ入って助かる！



▲お届けのようす。

農業生産法人ココ・ファーム、ハートコープやまぐち

性別や年齢だけでなく、身体や知的・精神に障がいをもった人にとって働きやすい職場をつくっていくために、山口県内では2例目となる特例子会社を設立しました。

農業生産法人ココ・ファームの業務委託として、宅配・店舗で取り扱ういなり寿司や赤飯などの加工作業や、農産物の袋詰めやシール貼りなどの作業を行っています。

2022年度のトピックス

「はじめましてBOX」のグッズの詰め合わせ、梱包作業をハートコープやまぐちが担っています。



▲箱の梱包作業

ココランド TOKIWAN

ココランドはコープやまぐちの関連施設で、瀬戸内海を望む小高い丘の上にある自然に囲まれたリゾートホテルです。わんちゃんと泊まれるホテル TOKIWAN (トキワン) は2022年3月にココランド敷地内にオープンして以来、山口県内外から見学や宿泊希望のお客様を多くお迎えしています。

ココランド宿泊のお客様とは入り口が分けられており、館も別のため安心して過ごせます。



▲TOKIWAN室内。

2022年度のトピックス

屋外のドッグランが完成し、滞在中、わんちゃんと思い切り遊べる居場所として喜ばれています。

利用者の声

ボリュームのある夕食・朝食を家族だけでお部屋で落ち着いて楽しめてとてもリラックスできました。



▲部屋の併設テラスにて。

コープサービス 住まい倶楽部

コープやまぐちで取り扱っていない商品やくらしに役立つさまざまなサービス(住宅リフォーム、白蟻駆除、イージーオーダー、チケット販売、引っ越し斡旋、保険など)を提供し、組合員と地域のくらしを応援しています。

2021年に住まいのサービスを提供している企業が集まり「住まい倶楽部」を発足。コープサービスが窓口となり、くらしのお困りごとを受け付け、提携店に連携することで迅速な対応が可能となりました。

2022年度のトピックス

住まい倶楽部の発足以降、コープやまぐちの組合員はもちろん、提携店の皆様からも「組合員さんとの関わりが増えて嬉しく思う」と実感いただいています。

コープやまぐちの組合員特典では、対象の販売店で新車をご成約すると商品券をプレゼントする新車購入応援が多くの方に喜ばれており、2022年度中に対象店舗が増えるなど、つながりが広がっています。

誰一人取り残さない、持続可能な世界

継承～次世代へつなぐ平和への思い～

1951年（昭和26年）生協の全国組織である日本生活協同組合連合会が設立されました。創立総会では「平和とよりよい生活のために」というスローガンが掲げられました。平和でなければより良い生活も築けないという考えのもと、全国の生協が平和の取り組みをすすめています。

やまぐちピースフォーラム2022開催

8月、コープやまぐちや山口県生活協同組合連合会で作る山口県ピースアクション実行委員会主催の「やまぐちピースフォーラム2022」を開催しました。コロナ禍での開催のため、オンラインでライブ配信も実施。県内多くの組合員・市民にご参加いただきました。

県内8自治体の首長・副首長にご参加いただいた山口県版平和首長会議、平和活動に取り組む子どもたちや組合員の発表、被爆者である折出眞喜男氏の講演を通して平和について一人ひとりが考え、次世代への継承の大切さを学ぶ会となりました。

2021年度に作成した「やまぐちピースマップ」も改めて配布され、マップを活用した戦跡めぐりや平和学習企画も呼びかけられています。



被爆者である折出氏によるピアノ演奏。

平和活動に取り組むキッズ・ピースサポーター。

県内8自治体の首長・副首長から平和へのメッセージをいただきました。



ピースマップは
コープやまぐちホームページで
ダウンロードできます



「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」をお届け

2021年度から取り組んできた、「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」活動では、2022年8月末までに13,848筆が集まりました。署名は9月末に核兵器廃絶国際署名山口県推進連絡会（ゆだ苑内）へお届けし、連絡会を通じて日本政府へ提出します。

被爆者の核兵器廃絶への思いや願いを受け継ぎ、今後もより多くの人に戦争や被爆の実相を伝え、核兵器廃絶への歩みを進めていきます。

と元気な山口県



元気な山口県づくりを 応援します

第17回女性いきいき大賞



「コープやまぐち女性いきいき大賞」は、住民参加による住みよい地域社会づくりと、男女共同参画づくりをめざし、2006年に創設されました。

女性が中心となって住みよい地域社会づくり等の活動にチャレンジしている団体を応援し、活動が地域に広がることを願っています。第17回女性いきいき大賞には、21の応募団体がありました。最優秀賞（山口県知事賞）には、地域の子どもの居場所づくりや、保護者や学校の負担軽減にもつながる勉強会・体験活動等に取り組まれている下関市のKananowaが選ばれました。

ウクライナ支援募金、トルコ・シリア地震緊急募金

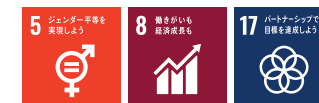


▲日本赤十字社山口県支部へお届け。

組合員が誰でも参加できる「虹の募金箱」を常設し、それぞれの募金の使途に応じて有効に活用しています。2022年2月には、ウクライナの子どもたちやその家族への継続した支援として、ウクライナ支援募金に取り組みました。また、2023年3月にはトルコ・シリアで発生した大地震被害に対する緊急募金を実施し、1000万円を超える募金が集まりました。寄せられた募金は山口県ユニセフ協会や日本赤十字社等を通じて、現地の必要な支援に活用させていただきます。

組合員と職員誰もがイキイキと輝く

生協



人・組織づくり

組合員の思いや困りごとに気づき、考え行動する「人・組織づくり」と生産性の高い仕事への改革をすすめます。



各事業が取り組んでいる実践事例

宅配（長門センター）

「コープファンを広げる」とは組合員との会話を大切にしています。相手を知る事、そしてその方にあった提案をする事でお役立ちができるのではないかと考えました。

会話や電話で組合員のことを知り、自分も商品を知ることでコミュニケーションを重ねました。今年度も試行錯誤を繰り返しながら、組合員のための仕事にしていきたいと思っています。

店舗（どうもん店）

自動発注システム導入によって得られた時間を、担当部門以外のことを学び、取り組む時間に充てました。

気づいたことをお互いに意見交換できるような職場環境づくりにつながっていくのではないかと実感しています。

そうすることで、関連付けた商品の陳列や売り上げの相乗効果にも期待ができるのではないかと思います。

本部（経理G）

私のテーマは「残業せずに帰りたい!」です。

「仕訳入力」の二重作業の解消」「摘要の統一」「スケジュール管理」を実行し、無理な残業が無くなり、業務時間と心にゆとりが持てるようになりました。

取り組みの結果、他部署の仕事も手伝えるようになりました。業務効率を上げ、他部署の業務を経験することは、自分自身がさらに成長することにつながったと私は強く感じました。

組合員さんへ伝える力を高めるPOP研修

コープからのお知らせや商品について知っていただくツールとして、宅配では「地区担当ニュース」、店舗では「POP」作成に取り組んでいます。2022年、POPのクオリティを高め、組合員さんへ伝える力を強化するために、POP作成のプロ講師に学ぶセミナーを開催。コープ職員約60名が参加し、考え方や効果的な書き方を学びました。



※コトPOP…商品の価値や魅力を伝えるとともに、買う人の共感を呼び、ファンになってもらう販促・接客ツール。

参加者の感想

これまでは自己流のPOPを作成していましたが、プロの講師に教えていただいたことで、見せ方や文字の効果について深く理解することができました。この学びを持ち帰って、店舗全体にコトPOP(※)を広げていきたいと思っています。

組合員の参画

組合員が主体的に事業や活動へ参画し、つながり・成長・いきがいを実感できる組織をめざします。

オンラインを活用した「わが家のいちおし活動」

組合員の声を広げることで新たな共感や発見につなげる「わが家のいちおし活動」。コロナ禍で試食を伴う活動や直接の交流が制限される中、オンラインの活用が進み、これまで活動に参加できなかった組合員も、お住まいの近くの事業所に行くだけで他地域との交流が可能になり、新しい参加が広がっています。

2022年度のトピックス

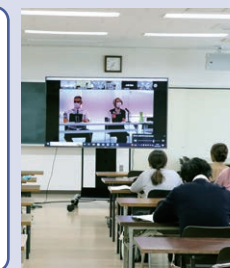
●学習会

2022年度のわが家のいちおし活動は、「エシカル消費」をテーマに、県内産商品の普及に取り組みしました。取り組む商品は、県内産直商品の代表として、ネーミングを変更して10周年の産直鹿野あじわい豚とふかわ鶏を、それぞれ上期・下期の重点商品にしました。

5月・10月に学習会を開催し、職員・組合員がオンラインを通じて産地の様子を知り、学びました。

参加者の感想

組合員さんの声を大切にされていることに感動しました。ふかわ鶏なら安心して食べられますし家族の健康も大切にできます。



●交流会

3月には各地域の組合員が取り組んだいちおし活動の発表の場・交流の場を設け、クイズや調理実践を通して商品の魅力を発信しました。



子育て層の参加が広がった「ふぁみ～ゆ」セミナー

宅配で配布している、子育て層向けの商品を掲載しているカタログ「ふぁみ～ゆ」。

2021年度に初めて「ふぁみ～ゆ」掲載商品に関するセミナーをオンラインで実施し、「商品を知ることができてよかった」「きらきらステップを利用したい」という声が多数寄せられました。2022年度も、子育てサポート利用者や「はじめましてBOX」申込者を中心に参加を呼びかけ、各家庭からZoomでセミナーに参加できる形式にて開催しました。



より多くの人々がつながる生協

行政や他団体との連携、地域社会づくりへの参画

行政懇談会

コープやまぐちでは、行政とは、1996年から毎年度懇談会を実施し、首長と住民（生協組合員）が話し合い、行政との協同活動やお互いの理解をすすめながら、住民の声を反映させた住みよい街づくりにつながることをめざしています。

行政懇談会の写真（掲載は開催順。氏名は開催当日のものです。）



▲市川照 光市長（前列右から2番目）と。（11/30）



▲福田良彦 岩国市長（前列左から4番目）と。（12/1）



▲前田晋太郎 下関市長（左から5番目）と。（12/1）



▲井原健太郎 柳井市長（前列左から2番目）と。（12/14）



▲田中文夫 萩市長（前列中央）と。（12/21）



▲篠田洋司 美祿市長（中央）と。（1/10）



▲藤田剛二 山陽小野田市長（前列中央）と。（1/11）



▲藤井律子 周南市長（左から4番目）と。（1/20）



▲江原達也 長門市長（前列中央）と。（1/26）



▲伊藤和貴 山口市長（前列右から3番目）と。（1/26）



▲國井益雄 下松市長（後列右から4番目）と。（1/30）



▲池田豊 防府市長（中央）と。（1/31）



▲篠崎圭二 宇部市長（右から3番目）と。（1/11）

ここと宇部店に子ども服・絵本・子育てグッズ回収ボックスを設置

宇部市が取り組んでいる「市民・事業者・行政の協働による持続可能な資源循環のまちづくり」において、子育て世帯の経済的負担の軽減とゴミ減量と不用品の再使用を促進するための子育て支援リユース事業があり、行政懇談会をきっかけに23年2月末ここと宇部店に子育て関連の回収BOXの設置につながりました。回収対象は、子ども服や絵本をはじめ、ベビーカーや知育玩具・学生服・学用品・子ども用スポーツグッズなどの短い期間しか使えない子育てグッズです。行政機関以外での回収BOXの設置は、コープやまぐちが初めてとなります。

各行政との協定締結

行政懇談会の積み重ねもあり、行政と生協との災害時の救助物資協定や見守り協定は、山口県および県内全市町と締結。地域活性化包括連携協定を、宇部市、山口市、萩市、周防大島町、柳井市、周南市と締結がすすみました。

また、2022年2月には山口県と「子育て支援等に関する連携協定」を締結。今後、他の行政とも連携をすすめ、地域の皆様とともに、安心、元気にくらせる魅力あるまちづくりに取り組んでいきます。



おたがいさま活動とのつながり

下関市と周南市には組合員どうしの助け合い、有償ボランティア組織「おたがいさま」があります。2023年に下関地域が設立10年、周南地域が6年となります。行政機関から、「おたがいさま」を紹介されたと、依頼にこられる方も多いです。住みよい街づくりへの思いは同じ。これからもこうしたつながりを強め、様々な組織と幅広く連携していきます。

NPO法人フードバンク山口への食品寄贈、募金贈呈



▲フードバンク山口
ほうふステーションお届けのようす。

宇部市との地域活性化包括連携協定を機に、ここと宇部店へフードバンクポストを設置し（2019年度）、翌年には全店に設置が広がりました。

2021年度には初めて宅配事業でのフードドライブ活動を実施し、2022年度も期間を限定して継続した結果、全センターで2444点もの食品が寄せられました。

寄せられた食品は、山口県で活躍するNPO法人フードバンク山口を通して、地域で食品を必要とされている方々へ活用されています。また、NPO法人フードバンク山口へは、同法人が企画する子ども宅食便への食品寄贈（お取引先から頂いた賞味期限が短い食品等も活用）や組合員からの募金贈呈等、年々連携を深めています。

レノファ山口のオフィシャルプレミアムパートナー



コープやまぐちでは、元気な地域社会づくりの一環として、地元スポーツを応援しています。2022年度もレノファ山口FCのオフィシャルサポーターとして冠マッチを開催し、役職員・組合員・地域の方々と一緒に試合を盛り上げました。

2022環境活動報告

ISO14001の認証登録

コープやまぐちでは、ISO14001(環境マネジメント)を2007年3月認証取得し、登録を維持しています。

※ISO14001とは、国際標準化機構(ISO)が定める環境マネジメントシステムの国際規格です。
この認証取得は「環境に配慮した事業活動をしている組織」と、世界共通に認められることを意味します。

2017年からはISO9001(品質マネジメント)、ISO27001(情報セキュリティ)なども参考にした業務全体の改善を進める統合マネジメントシステムとして運用しています。※認証取得はISO14001:2015のみ。

コープやまぐちは、統合マネジメントの運用によって、環境負荷の小さな事業活動、仕事品質・生産性の向上、ガバナンスの強化、働きやすさの実現を目指しています。

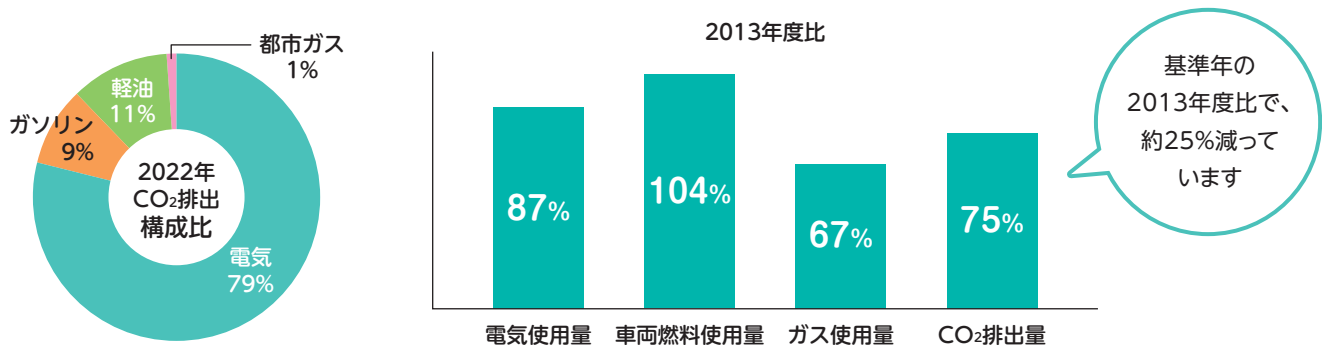
環境方針

環境負荷の軽減と汚染の予防を図るために掲げた、主な活動 ※全文はコープやまぐちHPに掲載

1. 事業活動におけるリスク・機会を評価して、省資源・省エネルギー・生産性及び仕事品質の向上をすすめ、CO₂排出量削減に取り組みます。
2. 店舗から出るごみや宅配事業で使用するシッパー等の廃棄物の削減に取り組みます。
3. 容器包装や食品廃棄物等のリサイクル活動を組合員とともに推進します。
4. 環境に配慮した商品と、山口県産商品の開発と普及を進めます。
5. 組合員とともに行政やその他の組織とも連携を強め、環境活動を地域に広げるとともに地域の活性化を推進します。
6. 食品衛生の向上および環境保全に配慮した事業活動をすすめ、組合員とのコミュニケーションを強化し、安心・安全、信頼、そして満足度の向上を図ります。

2030年 温暖化防止自主行動計画の進捗状況

コープやまぐちでは、2030年度のCO₂排出量を2013年度比40%削減する温暖化防止自主計画を策定しています。2022年度末時点の進捗状況は、2013年度比25%削減となっています。事業活動におけるCO₂排出の主要因となっている電気の使用量削減が進んでいます。2030年度までの今後7年間で、残りの15%削減に取り組んでいきます。



太陽光発電事業に取り組んでいます

関連施設のココランドでは、建物の屋根を活用した太陽光発電事業を2013年に開始。2022年3月からは、コープこと新下関店・宇部店の建物の屋根を活用した太陽光発電事業をスタートさせました。新下関店では年間約35.9万kWh、宇部店では年間約37.7万kWhの発電量が見込まれ、各店舗内の電力供給に活用しています。



統合マネジメント目標

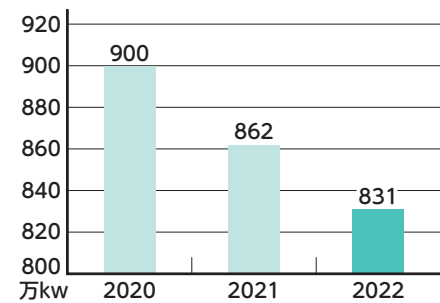
各部署で取り組んだ「2022年度目標&結果」と「2023年度目標」 網掛け部分は計画達成した部分です

部門		2022年度目標					2023年度	
		目標	達成レベル	実績	計画比	評価	目標	
店舗事業・生活事業の各事業所	新下関店 小郡店 いずみ店 宇部店 どうもん店 とくやま店	GP(供給剰余金) 計画達成	全店合計1,643,296千円	全店合計1,704,882千円 年間達成:新下関/いずみ/宇部	103.8%	○	GP(供給剰余金) 計画達成	
		人時供給高 計画達成	全店平均12,249円/h	全店平均12,916円/h 年間達成:新下関/いずみ/宇部	105.4%	○	人時供給高 計画達成	
		事業損益 計画達成	全店合計184,185千円	全店合計190,916千円 年間達成:新下関/いずみ/宇部	103.7%	○	事業損益 計画達成	
	島田店	GP(供給剰余金) 計画達成	36,287千円	25,668千円	70.7%	×	GP(供給剰余金) 計画達成	
		供給高 計画達成	139,485千円	106,572千円	76.4%	×	人時供給高 計画達成	
		人時供給高 計画達成	6,116円/h	7,740円/h	126.6%	○	事業損益 計画達成	
	湯田ブック	供給高 計画達成	124,941千円	128,320千円	102.7%	○		
		労働時間 計画内の業務執行	16,420h	13,423h	81.8%	○		
	宅配事業の各事業所	利用人数 計画達成	全センター合計3,358,863人	全センター合計3,287,461人 年間達成:宇部/下関/周南西/長門	97.9%	×	供給高 計画達成	
		宅配生産性 計画達成	全センター平均62.9	全センター平均64.7 年間達成:中部/宇部/下関/周東/長門/萩	102.9%	○	事業損益 計画達成	
		加害事故・交通違反 月発生0件	全センター月発生0件	全センター発生0件の月なし	-	×	残業時間 計画内の業務執行	
		5大トラブル削減 [月間1件以下の地区担当半数以上&週平均2件以上の地区担当0人]	月間1件以下の地区担当 月平均94人以上 週平均2件以上の地区担当 月平均0人	月間1件以下の地区担当 年間23人 週平均2件以上の地区担当 年間2人	24.3% -	×	加害事故・交通違反 月発生0件	
本部内の各部署	総務G	総務Gの労働時間 計画内の業務執行	年間10,679h	年間8,576h	80.3%	○	総務Gの労働時間 計画内の業務執行	
		本部の印刷枚数 前年比削減	年間1,413,066枚	年間1,316,045枚	93.1%	○	総合物件費 計画内の業務執行	
	財務経理G	資金管理(見通しと実績の差異が現金金に対して誤差1%以内)	年間78,793,333円	年間78,967,579円	100.2%	○	資金管理(見通しと実績の差異が現金金に対して誤差1%以内)	
		財務経理Gの労働時間 計画内の業務執行	年間7,960h	年間7,390h	92.8%	○	財務経理Gの労働時間 計画内の業務執行	
	人事教育G	採用計画人員の確保	年間58名	年間24名	41.4%	×	新卒採用計画人員の確保	
		人事教育Gの労働時間 前年比削減	年間9,414h	年間9,319h	99.0%	○	人事教育Gの労働時間 計画内の業務執行	
	組合員活動G	組合員活動Gの労働時間 計画内の業務執行	年間8,682h	年間8,569h	98.7%	○	組合員活動Gの労働時間 計画内の業務執行	
		リサイクル回収量 前年比105%以上	年間2,601,264kg	年間2,485,179kg	95.9%(前年比100.3%)	×	地域活性化包括連携協定 新規締結	
	店舗事業 ↓ 店舗商品	GP(供給剰余金) 計画達成	6店舗合計1,643,296千円	6店舗合計1,704,882千円	103.8%	○	GP(供給剰余金) 計画達成	
		事業損益 計画達成	6店舗合計184,185千円	6店舗合計190,916千円	103.7%	○	事業損益 計画達成	
	生活事業 (移動店舗) ↓ 買物支援G	GP(供給剰余金) 計画達成	52,215千円	47,904千円	91.7%	×	供給高 計画達成	
		供給高 計画達成	184,551千円	171,063千円	92.7%	×	管理可能損益 計画達成	
	営業推進G	労働時間 計画内の業務執行(1人当たり)	1人当たり 163h/月	1人当たり 179h/月	109.8%	×	人時供給高 計画達成	
		営業推進G拡大 計画達成	年間1,622人	年間1,819人	112.1%	○	営業推進G拡大 計画達成	
	夕食宅配G	営業推進G新規初回利用率 計画達成	初回利用率 年間85%	初回利用率 年間88.6%	104.2%	○	移動店舗の新規エリア拡大	
		供給高 計画達成	833,589千円	819,567千円	98.3%	○	供給高 計画達成	
		食数 計画達成	1,520,760食	1,473,985食	96.9%	×	食数 計画達成	
	宅配事業 (運営)	広報費 計画内の業務執行	13,920千円	11,601千円	83.3%	○	事業損益 計画達成	
		供給高 計画達成	15,404,529千円	15,151,857千円	98.4%	×		
	宅配企画G ↓ 宅配運営企画G	事業損益 計画達成	1,499,514千円	1,502,322千円	100.2%	○		
		独自媒体供給高 計画達成	322,090千円	326,926千円	106.7%	○	供給高 計画達成	
	共済G	事業広報費 計画内の業務執行	247,401千円	257,099千円	103.9%	×	事業損益 計画達成	
		新規加入 計画達成	年間7,528件	年間6,554件	87.1%	×	新規加入 計画達成	
		記入不備率 15%以下	年間15.00%	年間10.12%	67.5%	○	記入不備率 8%以下	
情報システムG	コープサービス	情報システムGの労働時間 計画内の業務執行	年間15,345h	年間12,263h	79.9%	○	情報システムGの労働時間 計画内の業務執行	
		電気使用量 前年比削減	年間80,069kwh	年間80,024kwh	99.9%	○	電気使用量 前年比削減	
商品検査センター	商品検査センター	人時生産性 計画達成	6,695円/h	6,983円/h	104.3%	○	事業総剰余金 計画達成	
		物件費 計画内の業務執行	33,647千円	31,022千円	92.2%	○	経営剰余金 計画達成	
	商品検査センター	検査業務の技術力向上と信頼性向上	定性が正しい、Zスコアが絶対値3以内、平均値と範囲は管理限界線を越えない	8月、10月、12月 基準値を下回る評価が発生した	×	×	検査業務の技術力向上と信頼性向上	
		コープやまぐち商品検査料 計画範囲内執行	年間9,650,000円 95%~105%範囲内	年間9,548,497円	99.0%	○	コープやまぐち商品検査料 計画範囲内執行	

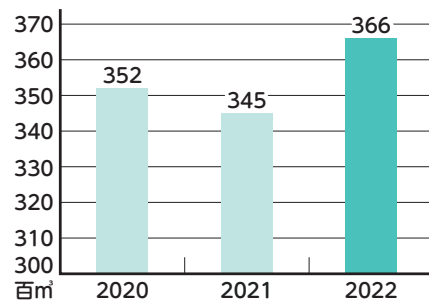
環境負荷の削減

インプット 事業活動に必要な資源及びエネルギーの使用量(総量)

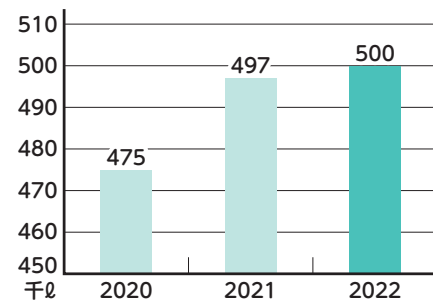
電気使用量の推移



ガス使用量の推移



軽油・ガソリン使用量の推移

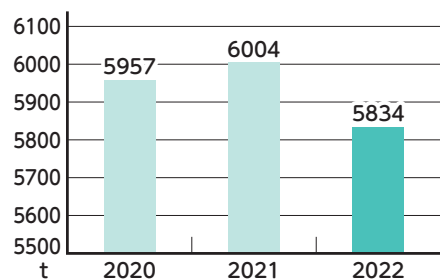


基準年						
インプット	2013年	2020年	2021年	2022年	前年比	2013年比
電気	9,601,462kw	9,002,714kw	8,623,409kw	8,313,360kw	96.4%	86.6%
都市ガス	47,459m³	34,370m³	33,673m³	35,708m³	106.0%	75.2%
LPガス	7,276m³	828m³	791m³	878m³	111.0%	12.1%
ガス(都市+LP)	54,735m³	35,198m³	34,464m³	36,586m³	106.2%	66.8%
軽油	381,144L	310,614L	263,925L	219,190L	83.1%	57.5%
ガソリン	101,138L	164,414L	233,510L	280,339L	120.1%	277.2%
車両燃料	482,282L	475,028L	497,435L	499,529L	100.4%	103.6%
コピー用紙(A4換算)	14,100,043枚	12,040,584枚	12,176,297枚	11,971,981枚	98.3%	84.9%
水道	44,015m³	33,782m³	30,575m³	30,129m³	98.5%	68.5%
トレー	18,233kg	46,129kg	61,081kg	60,122kg	98.4%	329.7%
ラップ	3,303kg	8,567kg	6,081kg	6,016kg	98.9%	182.1%
お買い物袋	209,614枚	231,196枚	269,300枚	288,886枚	107.3%	137.8%

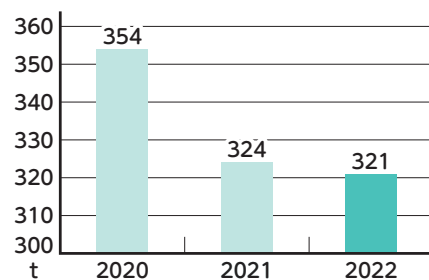
ワークフローやweb会議の活用が広がり、コピー用紙使用量を抑えることができました。また、電気、トレー、ラップ等の使用量削減も進んでいます。車両燃料の増加は、移動店舗のエリア拡大等に伴い車両台数が増加していることが主要因です。

アウトプット 事業活動によるCO₂及び廃棄物の排出量

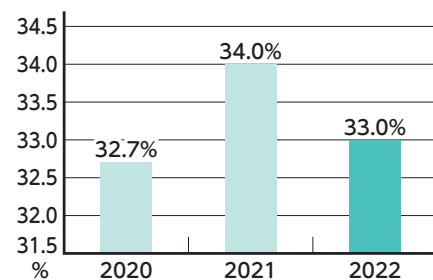
CO₂排出量の推移



一般廃棄物の推移



食品循環資源の再生利用率

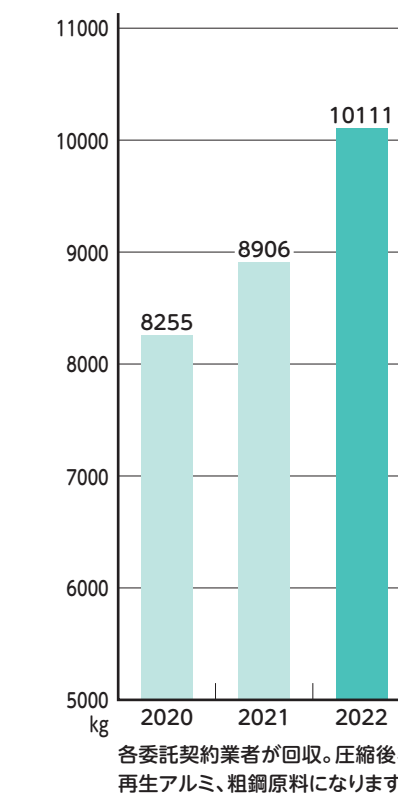


基準年										
アウトプット	2013年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	前年比	2013年比
CO ₂ 排出量	8,254t	7,601t	7,453t	7,184t	6,623t	5,957t	6,004t	5,834t	97.2%	70.7%
一般廃棄物排出量	436t	371t	341t	356t	331t	354t	324t	321t	98.8%	73.6%
食品廃棄物発生量	379t	336t	311t	341t	325t	359t	328t	316t	96.4%	83.3%
食品循環資源再生利用量	90t	92t	86t	101t	112t	117t	111t	104t	93.7%	116.1%
再生利用率	23.7%	27.4%	27.7%	29.6%	34.4%	32.7%	34.0%	33.0%	97.2%	139.4%

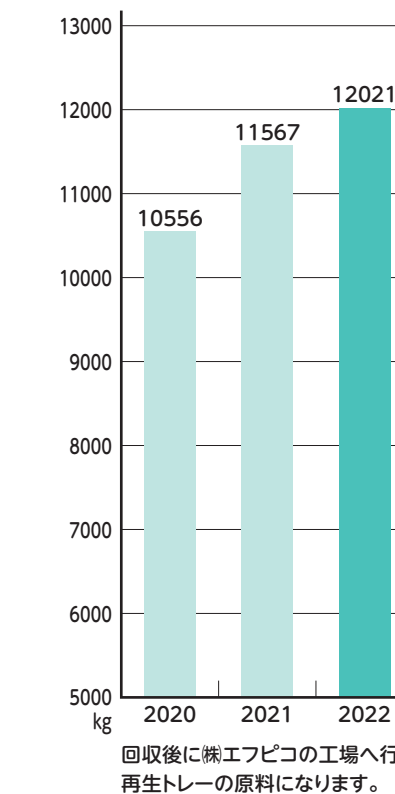
※2021年と2022年の電気CO₂排出係数は未確定のため、2023年1月環境省公表の2020年CO₂排出係数を仮適用して算出しています。

リサイクル 組合員さんからご協力頂きましたリサイクル量

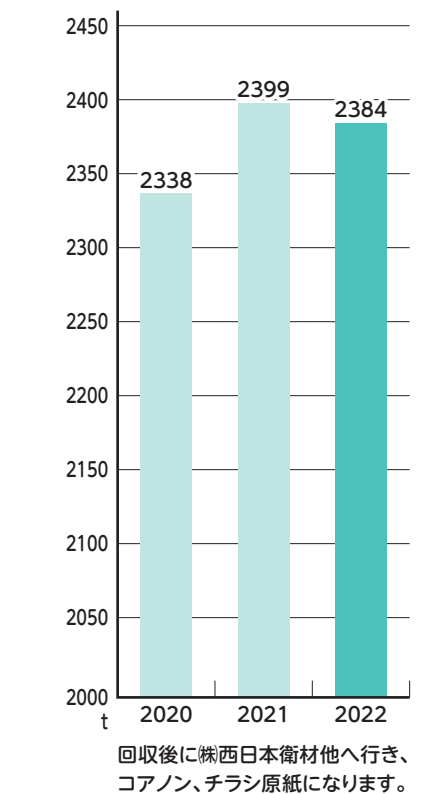
アルミ+スチール缶回収量の推移



発泡+透明トレー回収量の推移



宅配カタログ注文シート回収量の推移



		基準年				
店舗	リサイクル	2013年度	2021年度	2022年度	前年比	2013年比
	アルミ缶	5,567kg	7,362kg	8,038kg	109.2%	144.4%
	スチール缶	1,650kg	1,544kg	2,073kg	134.2%	125.6%
	発泡スチロールトレー	5,032kg	6,535kg	7,207kg	110.3%	143.2%
	透明トレー	1,554kg	5,032kg	4,814kg	95.7%	309.8%
店舗&宅配	家庭廃油	3,771ℓ	3,824ℓ	3,276ℓ	85.7%	86.9%
	古紙	62,502kg	197,099kg	187,293kg	95.0%	299.7%
	ペットボトル	(16年5月～)	16,532kg	17,970kg	108.7%	－
	卵パック	6,956kg	8,275kg	8,525kg	103.0%	122.6%
	飲料用紙パック	33,445kg	31,259kg	30,512kg	97.6%	91.2%
宅配	宅配OCR注文用紙	30,397kg	39,537kg	39,400kg	99.7%	129.6%
	宅配チラシ+カタログ	2,010,703kg	2,359,955kg	2,344,160kg	99.3%	116.6%
	宅配内袋	28,095kg	21,536kg	22,475kg	104.4%	80.0%
合計重量		2,189,672kg	2,698,489kg	2,675,742kg	99.2%	122.2%

近年の内食需要増と来店客増加に比例して、店頭回収するリサイクル回収量も増加しています。

基準年					
	2013年度	2021年度	2022年度	前年比	2013年比
買い物袋持参率	92.1%	91.4%	91.3%	99.9%	99.1%

コープやまぐちでは、レジ袋の販売収益金を山口県容器包装廃棄物削減協議会へ寄付し、山口県が行う啓発用マイバックの配付等、買物袋持参運動の発展に協力しています。

安心の事業ネットワーク

協栄会

コープやまぐちのお取引先様の組織。商品の取引だけでなく、生協まつりや様々な生協の活動へのご協力をいただいています。

様々な事業や法人、他団体と連携し、組合員のくらしへのより一層のお役立ちと、利用価値の提供をめざしていきます。



商品カタログでの注文方式で、毎週決まった曜日に個人宅またはグループに商品をお届けするほか、コープステーションハウスでの受け取りができます。子育て中のご家庭や高齢者、障がいを持つ方への特典などのサービスも展開しています。



組合員活動

組合員さんどうしが集まって、「くらし・健康・文化・福祉・環境・平和」等をテーマに、自分たちのくらしをもっとよくしたい、学び合いたい、地域に貢献したいとやりたいことを自主的に活動する場が組合員活動です。

コープの移動店舗 おひさま号

スーパーの撤退等で買い物に不便な地域の方が利用しやすい「移動店舗販売事業」。週1回から2回の決まった曜日・時間・場所でルート販売を行っています。



夕食をお弁当形式で個人のお宅までお届けします。安否確認サービスなどの地域に密着した活動でお役立ち度をも高めることも目指しています。



「自分の掛け金が誰かの役に立つ」という組合員どうしの助け合いからなるCO・OP共済。組合員の声とニーズに応え、保障内容の充実と質の高いサービスの実現を目指しています。

お買い物 サポートカー

お店に行くことが難しい方を送迎しています。

行政や地域の他団体

買い物が不便な地域の行政や自治会などとも協力して移動店舗やお買い物サポートカーがうかがう等、地域の様々な組織と連携した取り組みを行っています。

(一社)やまぐち食の安心・安全研究センター

生協グループとJAグループが共同で設立した商品検査センター。微生物検査、理化学検査(食品添加物検査・残留農薬検査)などを、独自の厳しい基準で行っています。



農業生産法人 株式会社ココ・ファーム:消費者組織であるコープやまぐちが、自ら生産を行い、「消費者の求める安全でおいしい農産物の生産・供給」、「生産だけでなく、食品加工による農業の活性化」を目指します。

コープサービス株式会社

コープやまぐちで取り扱っていない商品やくらしに役立つ様々なサービス(住宅リフォーム、白蟻駆除、宝石・呉服、イージーオーダー、チケット販売、引っ越し斡旋、保険など)を提供し、組合員と地域のくらしを応援しています。

福祉生活協同組合 さんコープ

介護サービスや施設を運営する福祉生協。ここハウス湯田やココランドの老人ホームの運営を担っています。

CO・OPここハウス湯田:福祉生協さんコープと連携して運営する、サービス付き高齢者向け住宅。敷地内に居宅介護支援事業所とデイサービスがある複合型施設です。



株式会社 COCOLAND:体育館やプール、フットサルなどのスポーツ施設、老人ホームや高齢者福祉施設など各種の機能を併せ持つリゾートホテルです。

ハートコープやまぐち

身体や知的・精神に障がいをもった人にとって働きやすい職場づくりのため設立した特例子会社。ココ・ファームの商品加工や、はじめましてBOXのセット作業などを請け負っています。

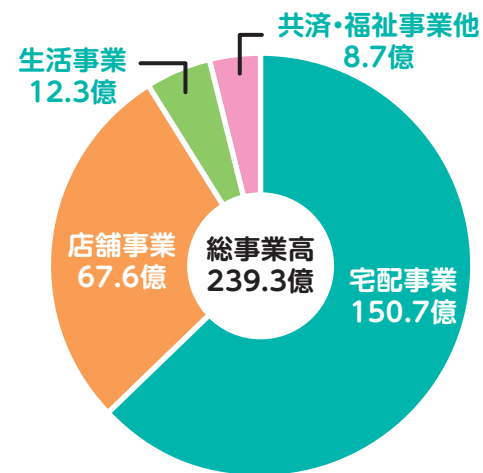
コープやまぐちの基本理念

一人ひとりの願いを寄せ合い、
私たちのまちに人間らしい豊かなくらしの創造を!

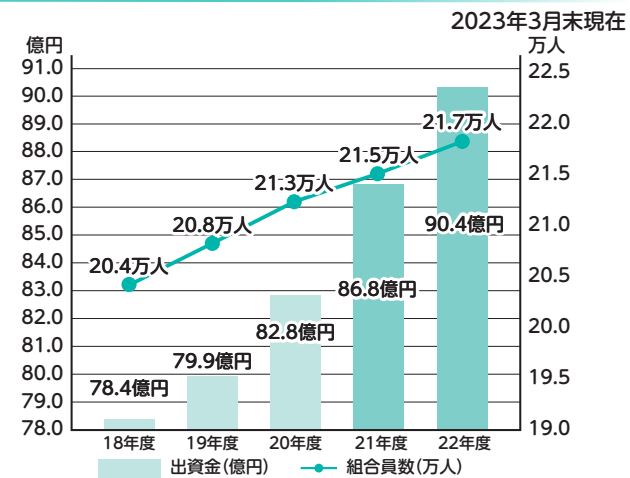
コープやまぐちの事業・組合員数・出資金

現在の組合員数は、**217,936人**、山口県世帯数に対し、**36.6%**の方が加入されています。組合員から寄せられた出資金は、**90億4千2百万円**です。総事業高は、**239億3千万円**です。

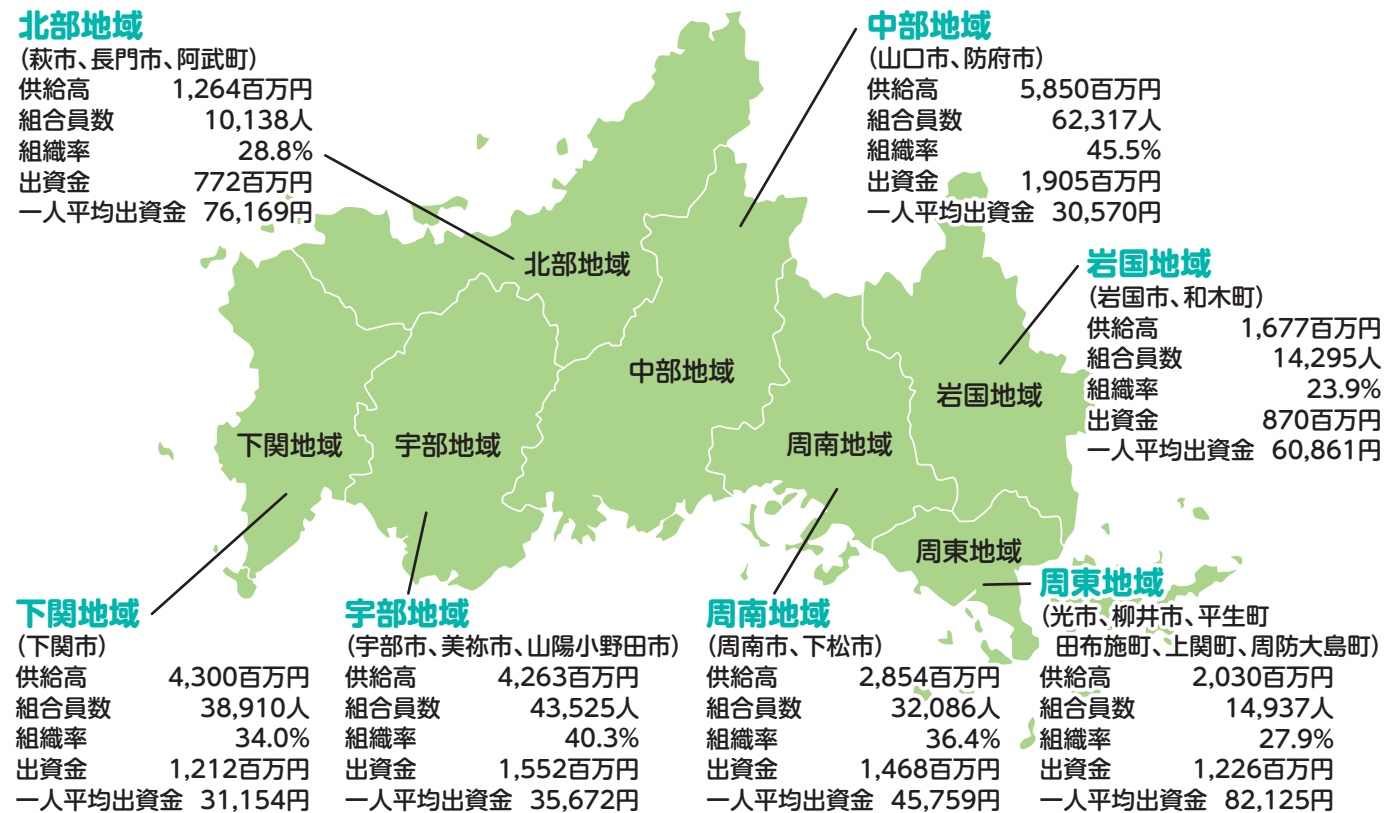
2022年度総事業高



組合員数と出資金の推移

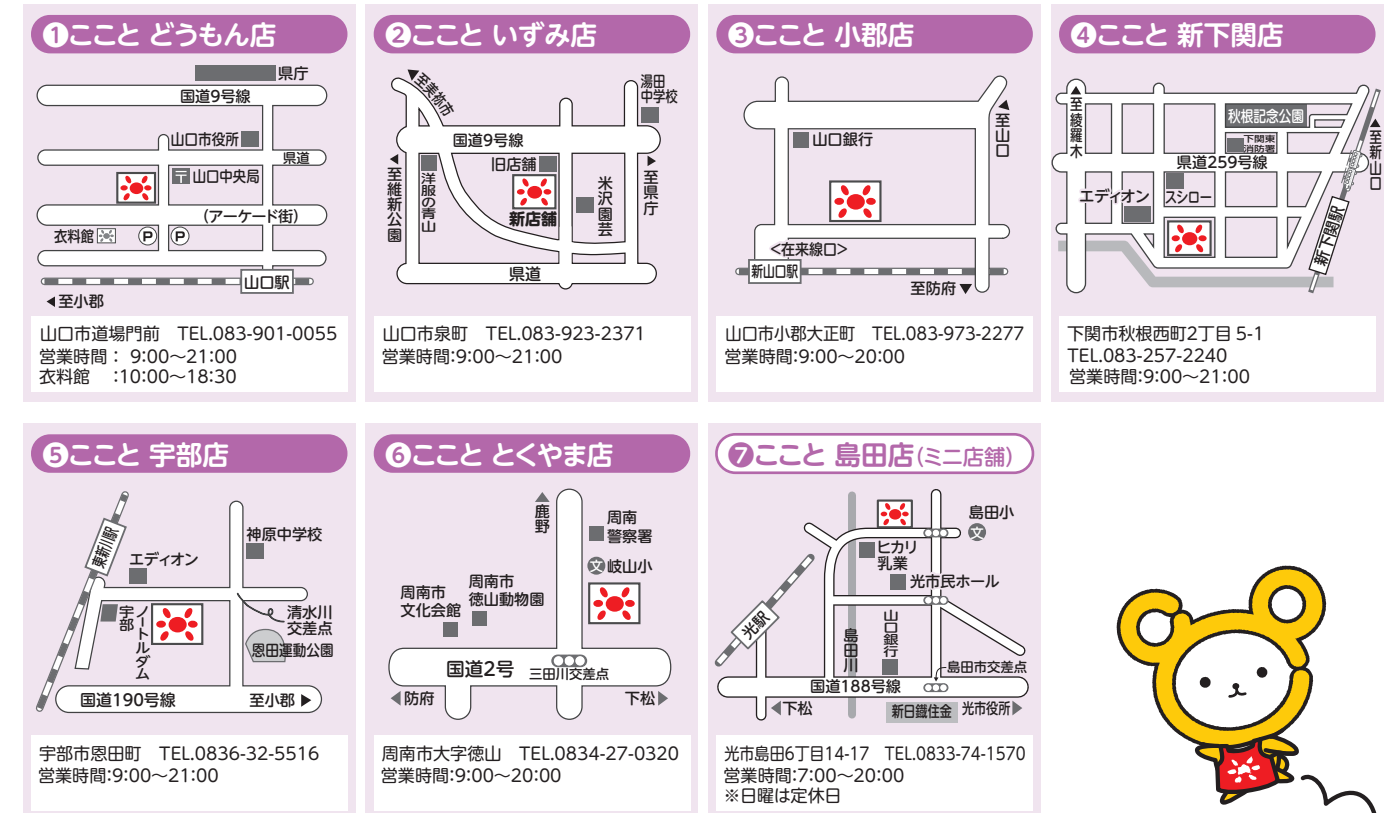


地域別供給高・組合員数



2023年3月末現在

笑顔がひろがる コープのお店と店舗地図



事業所連絡先

	事業所	住所	TEL
店舗	こことどうもん店	山口市道場門前1-1-18	083-901-0055
	ここといずみ店	山口市泉町9-1	083-923-2371
	ここと小郡店	山口市小郡大正町15番1号	083-973-2277
	ここと新下関店	下関市秋根西町2-5-1	083-257-2240
	ここと宇部店	宇部市恩田町2-2-15	0836-32-5516
	ここととくやま店	周南市大字徳山5818-46	0834-27-0320
	ここと島田店	光市島田6-14-17	0833-74-1570
宅配センター	中部センター	山口市大内御堀4003	083-927-4088
	長門センター	長門市東深川田屋	0837-26-3541
	萩センター	萩市椿3395-13	0838-22-0057
	下関センター	下関市大字石原字上岡168-12	083-256-6600
	宇部センター	宇部市東藤曲2丁目7-2	0836-32-5522
	厚狭センター	山陽小野田市桜2丁目2番50号	0836-71-0212
	周南東センター	周南市大字久米978-8	0834-25-1226
	周南西センター	周南市道源町7-3	0834-61-2052
	周東センター	熊毛郡田布施町麻郷3059-1	0820-54-1000
	岩国センター	岩国市南岩国町3丁目7-61	0827-34-0111
本部事務所	山口市小郡上郷10901-21		083-995-3600